

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科 目 名	公衆衛生学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	第1校舎801,802教室
担 当 教 員	齋藤 寛	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
疾病の予防および健康増進が注目され、近年ますます予防医学の重要性が増している。そのための法律や医療制度、統計などを知るとともに、現在の公衆衛生を取り巻く問題を理解することを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
中間試験、期末試験、課題等を総合して評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床検査学講座 公衆衛生学および配布プリント						
《授業外における学習方法》						
ノートに重要事項をまとめ、疫学の計算等の課題に取り組んでもらう。						
《履修に当たっての留意点》						
近年の疾病の発生状況や公衆衛生の法律や制度について学び、感染予防や健康増進のための取り組みを理解して欲しい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	公衆衛生の定義、健康の要因、国際保健協力について理解できるようにする。	教科書 配布プリント	教科書P1～4、P6～9、 P109、P189～191、P194 を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	公衆衛生の定義、健康の要因、健康増進法、国際保健協力			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	予防医学の考え方について理解し、分類できるようにする。	教科書 配布プリント	教科書P4～6を読んで おく	
		各コマにおける授業予定	1～3次予防			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口静態統計や現在の人口問題について理解できるようにする。	教科書 配布プリント	教科書P11～14、P192を 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	人口静態統計、国勢調査、人口増減率、人口ピラミッド			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	スクリーニング検査について理解できるようにする。	教科書 配布プリント	教科書P47～49を 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	スクリーニング検査、感度・特異度などの算出			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	疫学研究について	教科書 配布プリント	教科書P37～47を 読んでおく	
		各コマにおける授業予定	記述疫学、症例対照研究、コホート研究、介入研究			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症の発症までの経緯、感染経路、感受性について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P135～140を読んでおく
		各コマにおける授業予定	感染の成立、感染経路、感受性		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	感染症に関する法律と予防接種について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P140～153を読んでおく
		各コマにおける授業予定	感染症法、検疫法、予防接種法、ワクチンの分類、感染予防対策		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	母子保健に関する制度と指標および問題点について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P51～55を読んでおく
		各コマにおける授業予定	母子保健法、母体保護法、母子保健に関する統計		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	学校保健に関する制度と安全管理および問題点について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P57～61を読んでおく
		各コマにおける授業予定	学校保健安全法、学童期における疾病と安全管理		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活習慣病の現状と予防対策について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P63～76、P79,80を読んでおく
		各コマにおける授業予定	生活習慣と疾病との関連性、特定健康診査		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者保健に関する医療制度や介護制度について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P81～89を読んでおく
		各コマにおける授業予定	後期高齢者医療制度、老人福祉施設、介護保険		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神保健に関する制度、医療調査について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P30～33、P91～96を読んでおく
		各コマにおける授業予定	精神保健福祉法、国民生活基礎調査、患者調査		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	栄養と健康の関わりについて理解する。	教科書 配布プリント	教科書P76～79、P155、156、167、168を読んでおく
		各コマにおける授業予定	日本人の食事摂取基準、国民健康・栄養調査、食品衛生法		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	食中毒の発生状況、各食中毒の特徴と予防法について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P156～166を読んでおく
		各コマにおける授業予定	食中毒に関する現状、各食中毒の特徴と予防法		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	産業保健に関する制度、労働者の健康管理について理解する。	教科書 配布プリント	教科書P109～120、P169～178を読んでおく
		各コマにおける授業予定	職業病、労働基準法、労働安全衛生法		

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床検査技師科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義実習
科目名	公衆衛生学1		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年生		学期及び曜時限	後期	教室名	第1校舎801,802教室
担当教員	齋藤 寛	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
<p>疾病の予防および健康増進が注目され、近年ますます予防医学の重要性が増している。そのための法律や医療制度、統計などを知るとともに、現在の公衆衛生を取り巻く問題を理解することを目的とする。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>中間試験、期末試験、課題等を総合して評価する。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>臨床検査学講座 公衆衛生学および配布プリント</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>ノートに重要事項をまとめ、疫学の計算等の課題に取り組んでもらう。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>近年の疾病の発生状況や公衆衛生の法律や制度について学び、感染予防や健康増進のための取り組みを理解して欲しい。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活環境の保全対策について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P97～109を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	浄水法、水質基準、下水処理、廃棄物処理、室内環境			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	公害、環境問題の現状とその対策について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P120～123、 P125～134を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	環境基本法、公害、環境問題			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	人口動態統計を知り、出生や死亡に関する指標について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P14～23を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	人口動態統計、出生・死亡に関する統計			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年の死亡に関する現状について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P23～30を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	死因順位、平均余命と平均寿命			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	地域保健活動、医療制度、社会保障、社会福祉について理解できるようになる。	教科書 配布プリント	教科書P179～188を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	地域保健法、医療制度、社会保障、社会福祉			